

2025

岡山の高校図書館プレゼンツ

で〜れ〜BOOKS

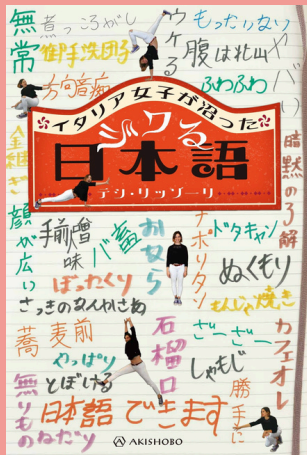


〈で〜れ〜BOOKSとは？〉

で〜れ〜BOOKSとは、岡山の高校司書によるおすすめ本コンテストです。
 図書館には多様なジャンルの本があることを知ってもらいたい！という願いから、小説以外の本を選考対象としています。
 岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会が主催し、今回で12回目となります。
 で〜れ〜BOOKS2025大賞本には、外国人の視点で日本の言葉や文化のおもしろさに気付かせてくれる作品が選ばれました。



大賞



『イタリア女子が沼った

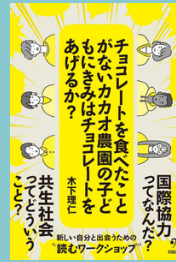
ジワる日本語』

テシ・リッソーリ / 垂紀書房

著者からのメッセージ

私が初めて日本語で著した本を大賞に選んでくださり心から嬉しく思います！日本の人や文化と出会って感じた驚きや感動、また日本語でしか表現できない多様な感情に心が震えた自分自身の体験を書きました。考え方や文化の違いに戸惑いながらも、「もっと知りたい」と思わせてくれる魅力が日本語にはあります。この本が新しい言語や文化に挑戦したいと思う皆さんの背中を少しでも押せたら幸いです。夢を追いかける勇気をあなたに！

2位



『チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもにきみはチョコレートをあげるか？』

木下 理仁 / 旬報社

3位



『きみのお金は誰のため
ボスが教えてくれた
「お金の謎」と「社会のしくみ」』

田内 学 / 東洋経済新報社



ノミネート作品



『3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話』

中野 吉之伴 / 理論社

『けんごの小説紹介
読書の沼に引きずり込む88冊』

けんご / KADOKAWA



2025

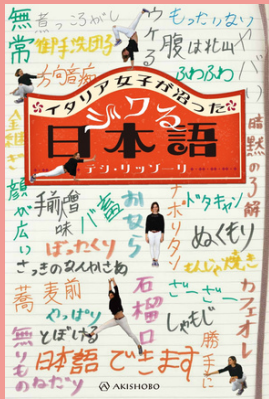
岡山の高校図書館プレゼンツ

で〜れ〜BOOKS

大賞



司書からのおすすめ
コメント



『イタリア女子が沼ったジワる日本語』

テシ・リッゾーリ / 垂紀書房

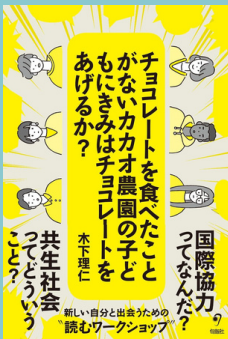
何も考えずに使っている日本語が、こんなに面白いものだったとは！作者の好奇心を通して、日本語の魅力を堪能できます。/好奇心は行動によって育つ。テシさんのように見に行こう、調べてみよう、話してみよう。この世界にはおもしろいことがいっぱい。/6か国語を操るイタリア人のテシさんがとてもポジティブで魅力的です！



2位

『チョコレートを食べたことがない カカオ農国の子どもに きみはチョコレートをあげるか？』

木下 理仁 / 旬報社



「もしも自分がそこにいたら」どんな選択をしたらうか。/国際協力や多文化共生をテーマにしたワークショップを疑似体験できる本。/多角的にもものを見て大切。本を読むとどれだけ自分が偏った考えをしていたか気づきます。/分断が進む社会を生きる高校生には、世界の現実を「自分ごと」として捉える力をつけてほしい。

3位

『きみのお金は誰のため ボスが教えてくれた 「お金の謎」と「社会のしくみ」』

田内 学 / 東洋経済新報社



ミステリータッチでハラハラドキドキさせながら「お金とは？」を考えさせてくれます。/知識豊富なボスがお金の本質を教えてくれます。/お金に振り回されてはいけなし、お金が最終目的じゃない。人がいてくれて、はじめてお金に価値が出る。お金に関して目からウロコが落ちる素敵な本です。



ノミネート作品



『けんごの小説紹介 読書の沼に引きずり込む88冊』

けんご / KADOKAWA

読みたいと思う本がきっと見つかる。/短い言葉で人を読む気にさせる言葉選びが秀逸。読みたい本が増える本、おすすめします。/読書は楽しいよ！ということが、この本を通してたくさん高校生に伝わってほしいです（読書で読解力や語彙力を身につけなさい、と言う大人のことはひとまず忘れて）。



『3年間ホケツだった僕が ドイツでサッカー指導者に なった話』

中野 吉之伴 / 理論社

自分が本当にやりたいことは何か、考えるきっかけになる1冊です。/自分の好きなことを続けていくチャンスはあるって聞くとうれしいよね。苦労や挑戦の先にチャンスは待っている。信じて進んでいってほしい。/上手くないけど。人並だけど。でも「〇〇が好き」。その思いを形にしてもいいんだ！と思わせてくれました。